

圏央道で行く!! <坂東市民隊> 将門ゆかりの青梅街道と 川越まつりの旅



10月15日(日) 目帰り



【祭りの歴史】

平成17年2月「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定された川越まつり。慶安元年(1648)、当時の川越藩主である松平信綱が、氷川神社に獅子頭や神輿などの祭礼道具を寄進したことに始まります。それから3年後、神輿行列が初めて町内を渡御。その行列の後を、町人たちは随行しました。これが、現在の川越まつりの原点です。

江戸時代、新河岸川舟運によって江戸との交流があった小江戸川越。やがて祭りの形態は江戸天下祭の影響を強く受け、絢爛豪華な山車が曳き廻されるようになります。江戸の祭りは神輿主体に変わりましたが、川越まつりはかつての江戸の天下祭の様式や風潮を今に伝えています。

〔坂東市民隊とは〕

市民の交流を深めることを目的として始まったバスツアーです。今回で5回目を迎えることができました。多くの市民のみなさんのご参加をお待ちしています。